

くすの木

令和2年度

美浜町立和田小学校 学校だより

令和2年10月23日

NO.24

今週から更衣（ころもがえ）が完全実施となりました。先週までの夏の雰囲気は遠い思い出のようになっていますが、学校は「熱い」！

今日、後期の児童会役員選挙がありました（結果は、本稿執筆時にはわかりません）。会長と他の役職合わせて10人の候補者が出ました。なんとも頼もしい限りです。

高学年になると、人前に出るのを恥ずかしがるが多くなります。ましてや児童会の役員選挙に出るなど、なかなか決心できることではありません。

しかし、今回多くの候補者が出てくれました。その勇気と、学校や友だちのためにがんばりたいという気持ちを持ってくれたことがうれしいです。残念ながら各役職1人しか当選できません。しかし、当選できなかった人も、この選挙に出たということをお勲章として、これからの小学校生活を送ってほしいと思います。この経験は、この先ずっと自分を励ましてくれる財産となるでしょう。

これからも様々なことに積極的にチャレンジできる人でいてください！

学校長

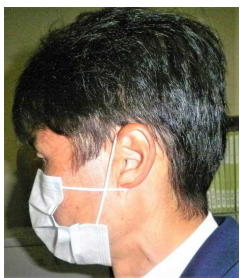
マスクのサイズ、合っていますか？

最近大いに気になることがあります。それは、子どもたちのマスクの着け方です。

特に低学年の子どもたちですが、マスクが大きいのか、鼻が出たままになっています。ひどい場合は口まで露出しています。

マスクが大きければ、ゴムの部分をクロスさせてきつくしたり、結んで短くしたりして、調整してください（写真参照）。

他人に迷惑をかけないだけでなく、自分の体を守るために必要なことです。よろしくお願いたします。



左：クロスさせる例



右：結ぶ例

少人数指導を始めました

効果的な学習指導と学習効率の向上をめざして、今週から第2学年において少人数指導を始めました。これは、学級を無作為に2つのグループに分け、別々の教室で国語科と算数科を同じ時間に指導し、2時間で全員が2教科を学習できるようにしたものです。

2年生（20人）であれば、10人ずつの少人数にすることによって、教師の目がこれまで以上に一人ひとりの子どもに行き渡り、きめ細かな指導をできることが期待されます。また、多人数の中では意見の発表などが苦手であるという子どもも、少人数なら発表できるということも期待できます。

国語科は、担任の平川が担当します。算数科は、専科教員の小松が担当します。効果を検証しながら、より良い指導体制作りを研究していきたいと考えています。



少人数で学習する2年生。左：国語 右：算数

校内研修 —プログラミング—

21日（水）、講師の先生を招いて校内研修を行い、プログラミングについて学びました。

この日は「プログル」というプログラミング教材を使って、コンピュータに命令して図形を描いたり、平均値を求めたりしました。また、「アーテックロボ」というロボット教材を用いてLEDを点灯させたり消したりする実技講習も受けました。

プログラミング教育の目的である論理的思考力を育成することの大切さを改めて実感することができました。



お米を寄贈しました

19日（月）、4年生が稲刈りをしたお米を、養護老人ホームときわ寮様と太陽作業所様に寄贈してきました。

学級代表の子ども2人が各施設の代表者の方に、玄関先でお米を受け取ってもらいました。また交流できる日が来ることを願います。

